

朝日町文化財保存活用計画の概要

【計画策定の趣旨】

過疎化・少子高齢化などを背景に、文化財の滅失や散逸等の防止が喫緊の課題となっていることから、今後の当町における文化財の保存・活用に係る具体的な方針や取組みの方向性を示すものとする。

【計画の位置づけ】

本計画は、第5次朝日町総合計画の基本目標である「まちづくりの7つの柱」のうち「子育て・教育」の中における文化財を対象とする部門計画として位置づける。

なお、朝日町総合計画の改訂や社会状況の変化を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うものとする。

【朝日町の文化財の特色】

朝日町には、他にはない特徴的な歴史文化と地域資源が存在している。

【ヒスイ文化】

ヒスイや石器づくりによって生まれた縄文時代の文化

【国境の町】

交通の要衝として栄えてきた歴史

【化石】

ジュラ紀の来馬層群の地層

【伝統芸能】

鹿嶋神社稚児舞などの無形民俗文化財

【地形と地域文化】

地形と多様性のある地域の文化

【文化財の課題】

(1) 保存

少子高齢化の進行に伴う地域コミュニティの希薄化による地域の文化財の適切な保存や確実な継承が困難となりつつある。

(2) 担い手

文化財保護行政に携わる人材の不足が懸念され、文化財の保存継承、活用などを幅広く担う人材の継続的な活用が求められている。

(3) 価値及び魅力

地域に伝わる祭り・行事への参加、文化財の学習や体験ができる機会を一層充実させることが求められている。

(4) 活用

文化財に対する理解が深まらない状況にあり、文化財の価値や魅力をわかりやすく伝えるための情報発信が求められている。

【文化財保存活用の施策の展開】(基本方針と具体的な取組み例)

◆基本方針1「まもる」“次世代に文化財を確実に引き継ぐ”

【方向性】文化財の実態把握と指定等による保護

- 埋蔵文化財保存活用施設(まいぶんKAN)の充実
- 防災・防犯体制の整備 など

◆基本方針2「育てる」“文化財の担い手を増やす”

【方向性】文化財の語り部及び文化財ガイドなどの人材活用

- 文化財の語り部及びガイドの活用
- 文化財検定の実施 など

◆基本方針3「みがく」“文化財の価値を高める”

【方向性】文化財の情報発信の強化

- ヒスイ文化の情報発信
- 文化財(境A遺跡など)のさらなる調査及び研究 など

◆基本方針4「楽しむ」“もっと朝日町が好きになる”

【方向性】学校などと連携した「ふるさと教育」の推進

- 保小中一貫教育(ふるさと科)による「ふるさと教育」の実施
- 文化財めぐりの充実 など

【目指すべき将来像】

朝日町の **特徴的な歴史文化と地域資源の魅力** をより多くの方に認識してもらうため、4つの基本方針を一体的に取り組む。

「郷土の文化や歴史に誇りをもち、次世代へ継承する活動を推進する」

地域資源の魅力あふれるまち

文化財の魅力を情報発信するとともに、豊富な地域資源と公共施設の有機的な連携を図る。

町民に愛されるまち

町民が地域の文化財に親しみ、関心を深め、ふるさとへの誇りや愛着を育む環境を醸成する。

